

SSR II・B 「ディベート(2)」～情報収集～



1 図書館、パソコン教室、iPad等で情報収集

- ①知識を増やしなが、実際のディベートで使える意見やデータがあれば、印刷やコピー(担当の先生に頼んで)をしておく。使えるなというのは、**主張の根拠として利用できそう**ということ。
- ②できるだけ**中立の意見を引用**すること。たとえば「サマータイム絶対正しいの会」のような運動団体の意見を参考にするのは構わないが、主張の根拠としては偏り過ぎており、共感を得られにくく、あまり強力ではない。むしろ、**大学の専門機関の研究者や公官庁などの政府機関の方が**、多くの人に受け入れられやすく、納得してもらいやすい。
- ③インターネットでの検索は、慎重にすること。なぜなら**ネット上の資料は基本的に信憑性が低い**。書籍や論文であれば、出版されたり、図書館に収蔵されたりする過程で様々なチェックが入るので、論拠のない適当な内容は少ない。しかし、インターネットであれば、誰でもすぐにページがつくれるので極端に言えば、「△△大学〇〇教授」と肩書を偽って情報を公開することもできる。**ウキペディアも**、誰でも書きかえることが出来るので、信憑性はそれほど高くないといえる。従って、ページの管理者やその肩書には十分注意し、情報の更新日などもチェックしなければならない。

2 立論をつくる

①「肯定側立論」をつくる

ポイント： 具体的プラン と メリット を提示すること …必ずその根拠を盛り込む。
例: テーマ「日本はサマータイムを導入すべきである、是」

- ・私たちは「日本が2020年にサマータイムを導入する」ことを主張します。
- ・現在は、(こんな不都合なこと)が起っています/起っていました。
(証拠資料)では、次のように述べられています。引用します。「……」
- ・サマータイムを導入すると、(こんなメリット)が発生します。
- ・そのメリットは次のように発生すると考えられます。…(説明)…
(証拠資料)では、次のように述べられています。引用します。「……」

以上の理由で、私たちは、「サマータイムを導入する」ことに賛成します。

②「否定側立論」をつくる

ポイント： 肯定側のプラン と 論理の矛盾 を突く …必ずその根拠を盛り込む。
例: テーマ「日本はサマータイムを導入すべきである、非」

- ・私たちは「日本が2020年にサマータイムを導入する」ことを否定します。
- ・私たちは、肯定側のプランでは、(こんなデメリット)が発生すると考えます。
(証拠資料)では、次のように述べられています。引用します。「……」
- ・サマータイムを実施しなくても、現在のままで(こんなメリット)があるんです。
(証拠資料)では、次のように述べられています。引用します。「……」

よって、「サマータイムを導入する」ことに反対します。

③逆の立場に立って、「反論」してみる

作り上げた「立論」を一度、相手側の立場に立って「反論」してみる。実際に試合の時反駁するときには、相手が証明した議論1つ1つに対して反論しなければならないので、それを想定してやってみるとよい。また、その反論に対する反論を考えておくとよい。

《反論には大きく分けて3つの種類がある》

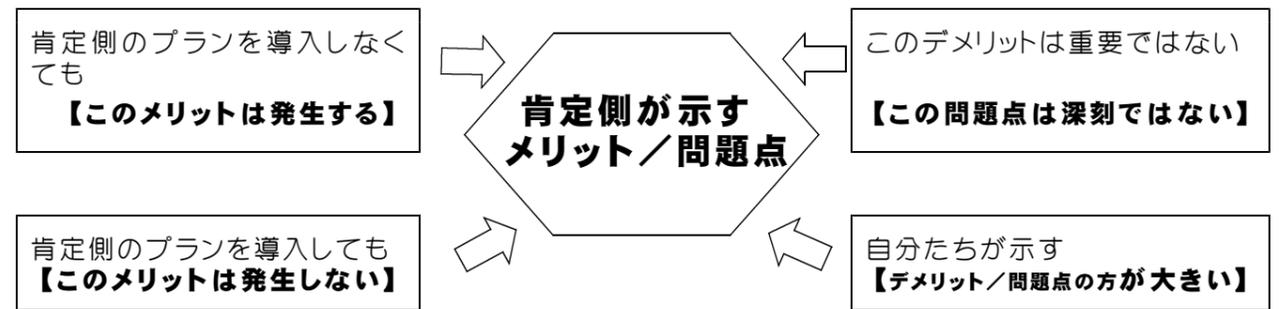
- (1) 「相手の主張は間違っている」と反論する。
- (2) 「相手の主張を支える根拠が間違っている・疑わしい」と反論する。
- (3) 「根拠と主張がずれている・結びついていない」と反論する。

具体的には

- (1) …「サマータイム制は省エネにつながる」という相手の主張に対して、「サマータイム制は省エネにつながらない。なぜなら、労働時間が増えて…」などと反論することである。この反論は一見簡単そうに思うかもしれないが、注意しないと単なる水掛け論で終わる可能性がある。**ディベートで重要なことは、主張を支える根拠の確かさを提示**することである。だから、反論を行う時も必ず根拠を言わなければならない。また、**ターンアラウンド**と言って、相手の主張はむしろ逆だと述べる反論方法がある。たとえば、相手が「水泳訓練に参加すると、バスケの練習時間がなくなるので下手になる」というのに対して、「水泳練習に行くと、かえってバスケがうまくなる。なぜなら泳ぐことで普段の練習では鍛えることのできない部分の筋肉が鍛えられるからである」のように反論することである。
- (2) …相手が示した根拠に対する反論である。「根拠としている事実は誤りだ」とか、「根拠としている統計が間違っている」等と反論する。ただし、ディベーターはしっかりリサーチをしているのが当たり前なので、この方法は難しい。常に新しい資料を探し、反論で使えるものを見つけておくようにしておく必要がある。
- (3) …相手の主張や根拠を直接否定するのではなく、主張と根拠をつなぐ部分を攻撃する方法である。たとえば相手が「サマータイムを導入すると石油が10万KI削減できる。なぜならA国で実際に導入したときに10万KI削減されたからだ」と主張したとする。これに対し、「日本とA国では、人口も経済規模も…のように全く違うので、同じ効果は期待できない」とか、「日本は省エネ技術がA国に比べて非常に高いので、同じ効果は期待できない」などと反論する。

3 (上記を参考にして)反駁を用意する

①以下は、肯定側の主張に対する反論方法を示した。



②反駁カード(メモ)を用意する

本や雑誌のコピーを証拠資料として使いこなすのは難しい。なぜなら、そのままでは、何処を引用すればいいのかわかりづらいため、著者の肩書や発行年数は何処に書かれているのかわかりづらいため、そのため試合中に読み上げるのに時間がかかったり、反駁でき時間が減ったり、ジャッジにしっかりアピールできなかったりする。そこで、証拠資料とは別に、予めカードに移して探しやすいように準備するという方法がある。

